



## 動き出した歯車

校長 田中 秋人

4月5月と瞬く間に過ぎ、新緑が美しい6月になります。ここ数日、夏のような日差しのもと半袖でも心地よく過ごせる日がある一方、上着を着ていないと肌寒い日もありました。寒暖の差を強く感じる日々でした。学校の敷地に目を向けると、正門の前では紫陽花の花が、じゃぶじゃぶ池では蓮の花がそれぞれ咲き始めました。季節が移り変わっていることを感じる日々の中、学校生活が流れていきます。5月になり、新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類相当から5類に変わりました。それに伴い様々な場面で、社会全体が動き始めたことを感じるようになってきました。学校においても換気等の感染症対策は変わらずに行いながら少しずつ学校教育の歯車が、以前のように回り始めています。



先日、4年生と6年生の社会科見学の引率として「資源循環局金沢工場」と「国会議事堂」「国立科学博物館」に行ってきました。4年生は資源循環局で5トンの資源を持ち上げることができる大きなクレーンを目の前でみました。また6年生は、ニュース番組等でも中継される国会議事堂の衆議院の本会議場を見学することができました。どちらも実物を目の前でみることで子どもたちは驚きや興味をもって見学をしていました。見学先では、説明をしてくださる方々にしっかりと挨拶したり、静かに話を聞いたりすることができていました。そのような姿を見て、舞岡小学校の職員としてうれしく思いました。コロナ渦の影響で学校教育においても、オンラインでもつながることができるようになりました。もちろんオンラインでの体験活動にも遠方の方と気軽に話ができるなどの良さはあるとは思いますが、実物に触れたり、本物をみたりすることで多くの事が学べると思います。このような見学等の豊かな体験活動を多く取り入れて子どもの学習意欲を高めていきたいと改めて感じました。

先日お手紙を配布させていただきましたが6月10日に土曜参観と学校説明会を行います。土曜参観は例年行っていましたが、学校説明会は数年ぶりだと思います。対面で中期学校経営方針をお示し、本校の教育についてお話をさせていただきたいと考えています。

学校教育の歯車は、職員だけで回すものではないと思います。子どものために保護者、地域の方々にご協力していただきながら、職員と一体になって回していくことで、よりよい回転が生まれると思います。コロナ渦で一旦止まりかけた歯車。依然と同じように回すだけでなく、どのような方法で回すのがよいのかを模索しながら、日々の学校教育に邁進していきたいと考えています。どうぞ今月も変わらぬご協力をお願いいたします。